

## 29年度東部地区公開講座（ 九九かるた ）のレシピ

### 〈 ねらい、目的 〉

それぞれの段の九九を①読み札②絵札③式札④数字札⑤唱え札⑥タイル札の6種類のかるた札を使ってとる活動を行いながら、かけ算のイメージを持ったり九九を正確に覚えたりすることができるようにします。

### 〈 材料 〉

- ・ A4厚手の画用紙（印刷済み）45枚  
※今回は、①読み札②絵札⑤唱え札⑥タイル札の4種類の札と③式札④数字札を表裏にした札を作ります。

### 〈 作り方 〉

- ① 「九九の札」プリントを線に合わせて切ります。

### 〈 使い方 〉

- (1) 読み札に対して1種類のとり札でかるたとりをします。  
①読み札⇄②絵札 ①読み札⇄③式札 ①読み札⇄④数字札  
①読み札⇄⑤唱え札 ①読み札⇄⑥タイル札
- (2) 読み札に対して数種類のとり札でかるたとりをします。  
①読み札⇄②絵札と③式札 ①読み札⇄②絵札と③式札と⑥タイル札  
①読み札⇄③式札と④数字札と⑤唱え札と⑥タイル札  
※組み合わせはさまざまです。
- (3) ③式札を読み札にして、①②④⑤⑥をとりにします。  
この場合も複数の札を組み合わせることができます。  
②④⑤⑥の札を読み札にしてもよいです。
- (4) 教室で一斉に  
教師が一つの段の①読み札を読み、グループごとにその段の1種類のとり札をわたして、グループ内でかるたとりをします。
- (5) グループ内で  
読み手・とり手に分かれてかるたとりをします。

◎他にも、カードの裏を並べて「しんけいすいじゃく」等、アイデア次第で、他にもいろいろな使い方が考えられると思います。  
使いながら、子ども達と一緒に新しい使い方を発見してみてください。

